



東日本大震災から10年 復興支援 派遣職員が語る

平成29・30年度 宮城県東松島市 教育総務課・学校教育課

和泉 太一

再建した学校の施設整備や学校建設検討委員会についての仕事をしました。

高台への集団移転が行われ、復興祈念公園の完成や中学校開校など公共施設も多く整備されましたが、海岸沿いを中心に震災の跡が見られました。

派遣中に、復興支援自転車イベントの震災復興伝承館や大高森などを巡る「東松島グループプライド&ハイキング」に参加しました。地域の方や子どもたちの声援がとても力になりました。

東松島市 人口約4万人

宮城県仙台市の北東に位置。特別名勝「松島」から続く「奥松島」の東端を有す。「ブルーインパルス」の本拠地「航空自衛隊松島基地」がある。
☎ <https://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/>



(震災直後)大曲浜・下浜橋付近



(現在)矢本海浜緑地公園

東松島市 渥美 巖 市長

東日本大震災の復興に際し、我孫子市様には平成28年度から令和元年度の間、3名の職員派遣をいただき、お陰様で令和2年度末をもって、ハード事業の復旧は完遂します。心から感謝申し上げます。

今後は、被災した方々に寄り添った「心の復興」や「コミュニティの再生」などを進めて参りますので、引き続き温かいご支援をお願いいたします。



平成26年度 岩手県陸前高田市 税務課

廣瀬 弘忠

主に市民税と国民健康保険税の仕事をしました。

当時は、ガレキの撤去が終わり高台の建設が始まったばかりで、かさ上げ工事のために運転し始めた土砂運搬用巨大ベルトコンベヤーは、空中回廊のような外観で観光資源としても注目されていました。トラックが行き交い、まさにこれから復興が進んでいく段階でした。

住んでいた仮設住宅では、孤立防止やコミュニティ再建のために、お花見や芋煮会などの行事があり、皆さん前向きに生活をしている姿が印象に残っています。



▲ベルトコンベヤー(平成28年撤去)

平成29・令和2年度 岩手県陸前高田市 市民課・まちづくり推進課

吉田 愛美

市民芸術祭の開催や友好都市との交流事業などの仕事をしています。

最初の派遣時は、市街地道路も整備中で、住民は高台に家を再建したばかりの人が多く、復興途中という印象を受けました。現在は、新たな商業施設が開店し、最後の仮設住宅も3月をもって撤去されるなど、新しい陸前高田になったと感じます。

自らが被災しながらも復興に全力を注ぐ地元職員には本当に心を打たれる思いです。



▲陸前高田市芸術文化協会の方と

山元町 齋藤 俊夫 町長

我孫子市の皆様のご多大なるご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災から10年を迎え、復興の完遂まであと一歩となりました。農水産物直売所のにぎわいや震災遺構「中浜小学校」の一般公開など、復興10年目に相応しい、大きな成果を上げております。

今後も、震災を契機に育まれた皆様方との強い「絆」を糧に、復興の完遂へ向け、全力で取り組んで参ります。



▼新市街地「つばめの杜」。手前は役場新庁舎

▼農水産物直売所「やまと夢いちごの郷」(フードコートオープン後)



山元町 人口約1万2000人

宮城県の東南端に位置。東側には太平洋を一望できる平野が広がり、西側には阿武隈山地が広がる、景色がきれいな自然豊かな町。イチゴやリンゴなどが盛んに栽培されている。海の幸も豊富。
☎ <https://www.town.yamamoto.miyagi.jp/>

約7万本といわれていた高田松原も津波でほとんどが流されました。その中で唯一耐え残った「奇跡の一本松」。
※海水により深刻なダメージを受け、平成24年5月に枯死を確認。その後、「奇跡の一本松保存プロジェクト」で保存整備されています。

陸前高田市 人口約1万9000人

岩手県の東南端、県内でも比較的温厚な気候で、降雪量が少なく、「岩手の湘南」と呼ばれている。
☎ <https://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/>



陸前高田市 戸羽 太 市長

東日本大震災から10年を迎えました。

この間、我孫子市様には職員派遣をはじめとした多くのご支援を賜り、また市民の皆様からも大きな励ましを頂いてまいりました。

お陰様で復興も最終段階に入っております。まだまだ課題もありますが、いつか我孫子市の皆様にご恩返しができるよう、しっかりと復興完遂に向けて頑張っておりますのでこれからもよろしくをお願いいたします。

